



阿部 弘
大本 堯史
岡田 芳和
片山 容一
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
佐々木 富男
高倉 公朋
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
堀 智勝
吉田 純
吉峰 俊樹
吉本 高志

編集委員

新井 一
(編集委員長)
飯原 弘二
貴島 晴彦
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
前原 健寿
宮本 享
村山 雄一
吉田 一成
若林 俊彦
(五十音順)

2008年に本誌の編集委員を拝命し、早くも11年が過ぎました。私事になりますが、私は、この3月をもって愛知医科大学を定年退職いたしますので、これが最後の編集後記となります。この間、「脳神経外科」の編集業務に関わる幸運をいただき、大変貴重な経験をさせていただきました。皆様に感謝すると同時に、本誌のますますの発展をお祈りいたします。

3月号の「扉」は京都大学iPS細胞研究所の高橋淳先生が、「『死の谷』を越える」というタイトルで執筆されています。先生は現在、iPS細胞のパーキンソン病患者への応用という世間の大きな注目を集めているテーマに取り組まれています。基礎研究の成果を社会で実用化するために越えなければならない「死の谷」についての興味深い見解を述べられています。さて、今回の特別寄稿「脳神経外科コントロールシー2019」は、高齢者の腰椎変性疾患、成人脊柱変形については脳神経外科と整形外科の立場から、また大型内頸動脈瘤については血管内治療と直達手術の立場から、大変興味深い寄稿をいただきました。「総説」では地域脳卒中登録の意義と滋賀県での現状についての詳細なデータを提示していただきました。また、「解剖を中心とした脳神経手術手技」では覚醒下手術における言語機能のモニタリングについて、言語の一次機能野、連合野、基盤の白質の温存という観点から、実際の症例を交えて解説していただきました。

また、連載「臨床研究の知識update」では七戸秀夫先生に「利益相反の最近の考え方」について歴史的な背景を振り返りながらわかりやすく解説していただきました。その他にも、テクニカルノート、症例報告、IT自由自在など、大変充実した内容となっています。

Neurological Surgery 脳神経外科

(第47巻第3号)

2019年3月10日発行(毎月1回10日発行)

定価: 本体2,600円+税

2019年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)
冊子版/通常 30,600円、冊子版/個人特別割引 29,040円
冊子+電子版/個人 34,040円
電子版/個人 29,040円

E-mail: noge@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (松田・前野)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

オンライン投稿 ID: noge パスワード: noge

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2019, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・[JCOPY] <出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「脳神経外科」「NEUROLOGICAL SURGERY」は、株式会社医学書院の登録商標です。